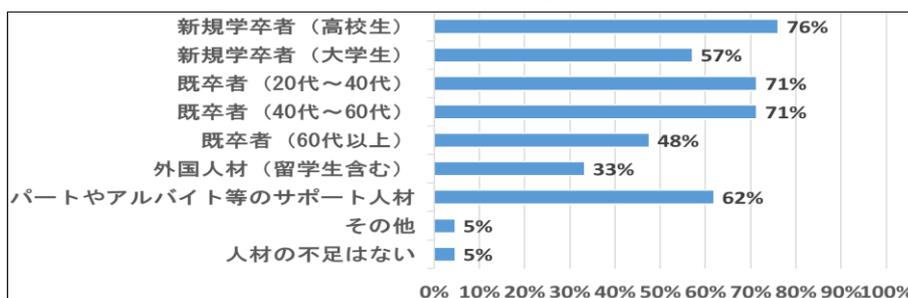


◆宿泊業 調査結果◆

問1:学生・既卒等の人材に関する質問(宿泊業)

問1 Q1: 貴社が求める人材の内訳は? 回答事業者数: 19/21

○新卒者、既卒者共に全体的に求める傾向にあるが、他業種との違いとして、パートやアルバイト等のサポート人材を求める傾向が高い。

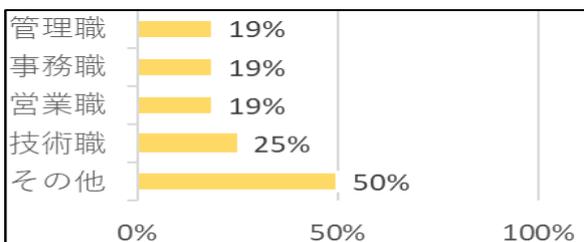


問1 Q1: 求める人材の職種の内訳は?

○営業職、事務職に比べて各職種その他(サービス業・接客等)が高く、管理職として既卒者(20代~60代)を求める事業者が多い。

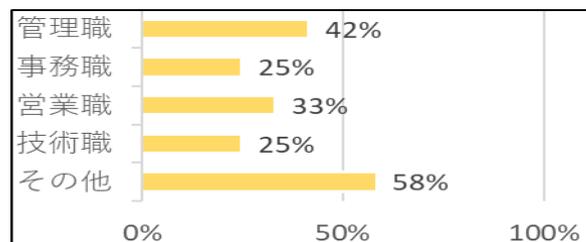
・新規学卒者(高校生)に求める職種

回答事業者数: 16/21



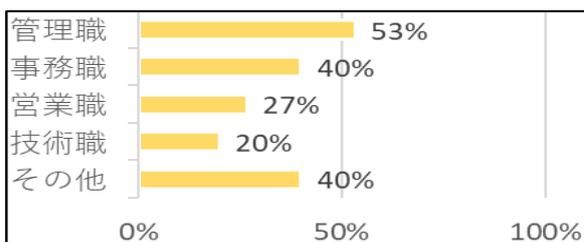
・新規学卒者(大学生)に求める職種

回答事業者数: 12/21



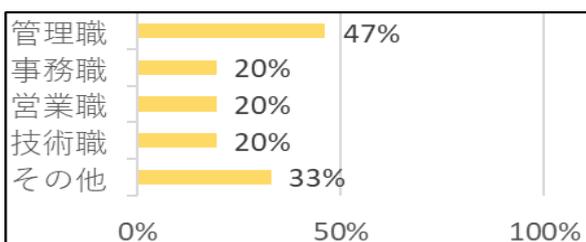
・既卒者(20代~40代)に求める職種

回答事業者数: 15/21



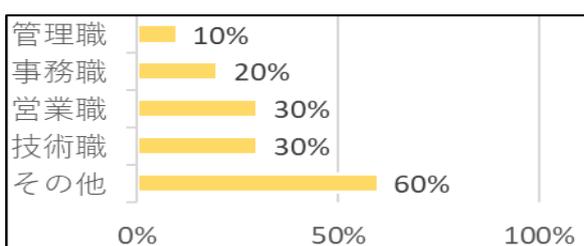
・既卒者(40代~60代)に求める職種

回答事業者数: 15/21



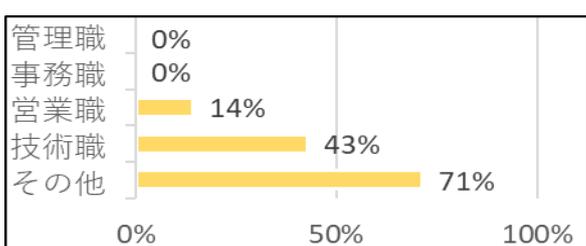
・既卒者(60代以上)に求める職種

回答事業者数: 10/21



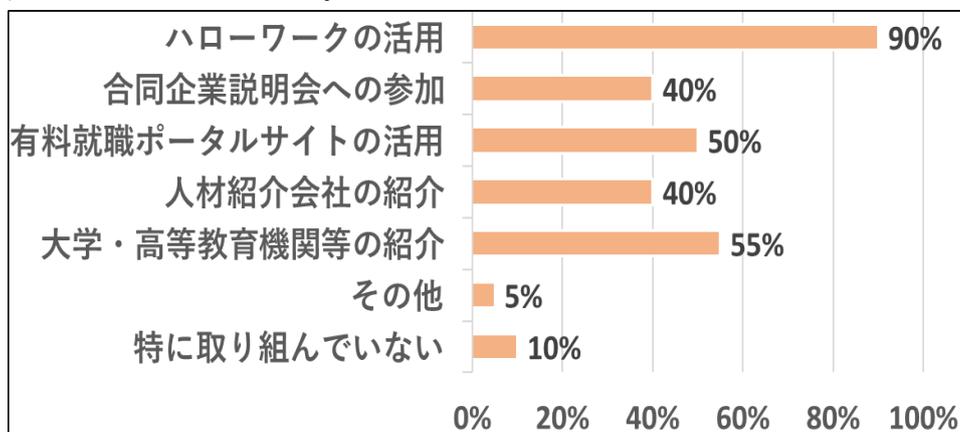
・外国人材(留学生含む)に求める職種

回答事業者数: 7/21



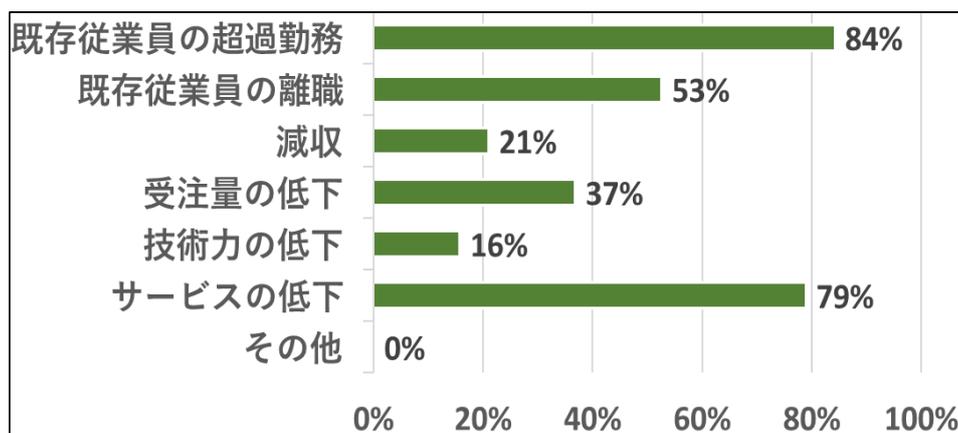
問 1Q2：求める人材を確保する為に取り組んでいることは？ 回答事業者数 20/21

○ハローワークの活用を中心に合同企業説明会や人材紹介会社、学校からの紹介など多岐にわたって活用している。



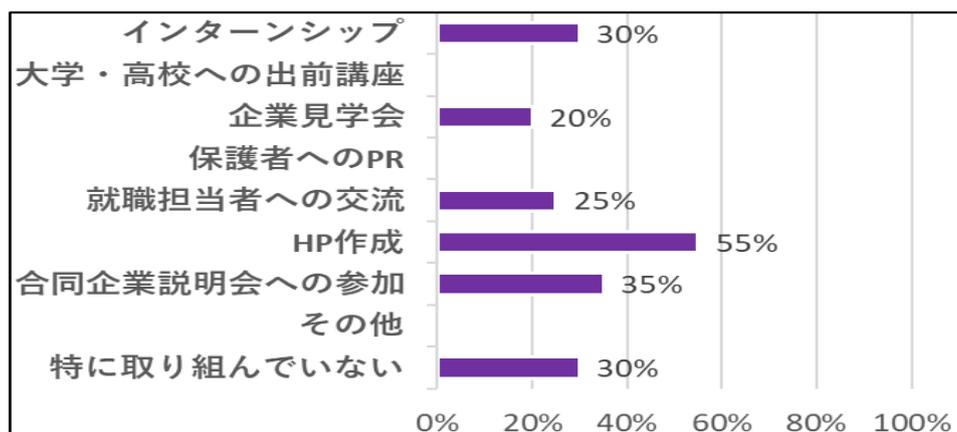
問 1Q3：人材の不足が業務にどのような支障をきたしますか？ 回答事業者数 19/21

○人材の不足により既存従業員の超過勤務、サービスの低下に影響が出ている。また他業種に比べて人材不足による業務量の増加での離職が多くなっている。それぞれの数字も他業種よりも比較的高い水準になっている。



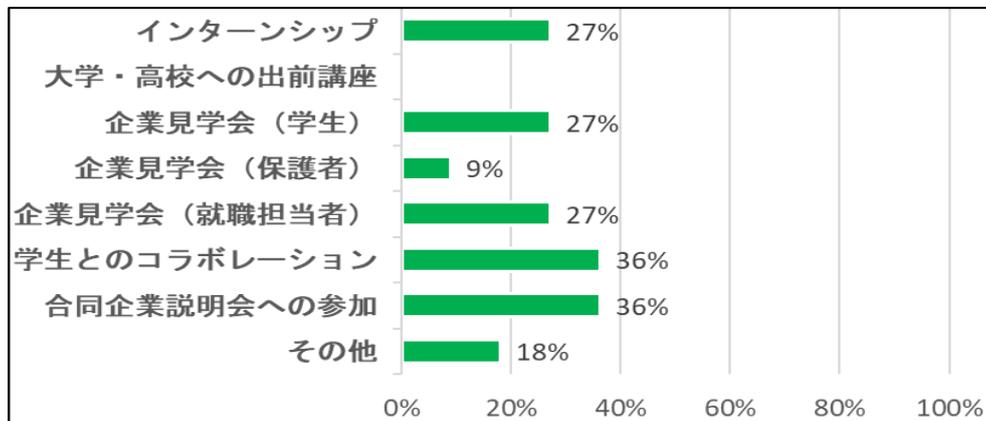
問 1Q4：自社 PR の為に取り組んでいることは？ 回答事業者数 20/21

○HP 作成を中心にインターンシップや企業見学会と企業受入れでの自社 PR が多い傾向にある。一方で、大学・高校への出前講座と保護者への PR が行われておらず、企業外での PR 活動に影響が出ているものと思われる。



問 1Q5：自社 PR の為に今後取り組みたいことは？ 回答事業者数 11/21

○企業外での自社 PR 活動への取り組み（出前講座、保護者の企業見学会）が少なくなっており、学校を通じた自社 PR への取り組みを目指している。



問 2：外国人材(特定技能)・技能実習生に関する調査(宿泊業)

問 2Q1：技能実習生・特定技能・その他（留学生・エンジニアを含む）について、受け入れている人数は何人か？ 回答事業者 7/21

○その他の受け入れが多く、技能実習と特定技能の受け入れしている事業者は少ない。

単位：者

受け入れ人数	現在（技能実習）	現在（特定技能）	現在（その他）
5人以下	0	1	5
6人～10人	0	0	1
11人～15人	0	0	0
16人以上	0	0	0

問 2Q1：技能実習生・特定技能・その他（留学生・エンジニアを含む）について、今後受け入れる予定の人数は何人か？ 回答事業者 8/21

○特定技能が 4 者、その他に 4 者が回答した。